

発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/2 >

参考値

(データ集約 : 9/14)

採取場所	福島第一 西門		福島第二 MP - 1 (参考)				炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成23年9月13日 7時00分 ~ 12時00分	平成23年9月13日 9時30分 ~ 9時40分				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-			1E-03
Cs-134 (約2年)	4.4E-07	0.00	ND	-			2E-03
Cs-137 (約30年)	5.8E-07	0.00	ND	-			3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、 . × 1 0⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

福島第一 西門における検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-7Bq/cm³、Cs-134が約4E-7Bq/cm³、Cs-137が約4E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約7E-8Bq/cm³。

福島第二 MP - 1における検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約3E-6Bq/cm³、Cs-137が約4E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約9E-7Bq/cm³、Cs-134が約2E-6Bq/cm³、Cs-137が約2E-6Bq/cm³。

発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/2 >

参考値

(データ集約 : 9/14)

採取場所	福島第一 MP - 1		福島第一 MP - 3		福島第一 MP - 8		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時	平成23年9月13日 10時05分 ~ 15時05分		平成23年9月13日 10時35分 ~ 15時35分		平成23年9月13日 10時20分 ~ 15時20分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	1.5E-06	0.00	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	8.8E-07	0.00	ND	-	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 1 0⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-7Bq/cm³、Cs-134が約5E-7Bq/cm³、Cs-137が約6E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-7Bq/cm³、Cs-134が約3E-7Bq/cm³、Cs-137が約3E-7Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

発電所敷地海側における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

(データ集約：9/14)

採取場所	福島第一 南防波堤上		福島第一 メガフロート上				炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)			
試料採取日時	平成23年9月12日 19時00分～24時00分		平成23年9月12日 19時00分～24時00分				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-			1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	1.5E-06	0.00			2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	1.7E-06	0.00			3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-7Bq/cm³、Cs-134が約6E-7Bq/cm³、Cs-137が約6E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-7Bq/cm³、Cs-134が約3E-7Bq/cm³、Cs-137が約3E-7Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

参考値

発電所敷地前面海域における空气中放射性物質の核種分析結果

(データ集約 : 9/14)

採取場所	福島第一 沖合2～3km海上 1回目		福島第一 沖合2～3km海上 2回目		福島第一 沖合2～3km海上 3回目		福島第一 沖合2～3km海上 4回目		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成23年9月12日 19時00分～19時30分		平成23年9月12日 19時35分～20時05分		平成23年9月12日 20時06分～20時36分		平成23年9月12日 20時37分～21時07分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	9.1E-08	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	7.9E-08	0.00	3E-03

NDとは、ND × 10⁻³と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

I-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約5E-8Bq/cm³、Cs-137が約5E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

本測定は、粒子状の空气中放射性物質の核種分析を行った結果である。